

尾崎 大介



●尾崎大介プロフィール● 昭和49年生まれ。日本大学農獣医学部卒。山花都夫衆議院議員公設第一秘書を経て、平成17年に都議選に初当選。NPO法人 エコクラブ参与。平成21年2期目トップ当選。財政委員会副委員長、都議会民主党総務会副会長などを歴任。現在、都市整備委員会委員長。 ●資格●測量士、宅地建物取引責任者

■東京都議会 第3回定例会報告

都議選後初の定例会



新銀行の責任究明へ 特別委員会の設置が実現!

Topics 1

民主党は「都議選の結果は、新銀行への都民の怒りや疑問が大きく影響した」として、1千億円近くを毀損した根本的な責任を問うために第三者機関の設置を求めました。



これに対して石原知事は「都議選結果は国政の動向が強く反映した。新銀行をはじめ都政の限られた案件についての審判とは考えていない」と私たちの主張を否定するとともに「第三者機関を設ける必要は全くない」と断言しました。

一方で、民主党は、新銀行及び築地市場問題についての特別委員会の設置を要求し続け、自民党の執拗な抵抗にあいながらも、何とか設置にこぎ着けました。

民主党は、参考人招致などを実現し、問題点を明らかにするとともに、都民の視点に立って、これら問題を解決していきたいと考えています。

私たちが都議会民主党(以下「民主党」という)は、都政の重要課題である新銀行東京や築地市場、あるいは救急医療などの問題について、「都民の生活が第二」との視点から、都議会本会議の場で積極的に政策提案を行うとともに、新銀行及び築地市場の特別委員会の設置を求めてきました。

私たちが、都議会第会派であるという自覚と責任のもと、都民の皆様の声をいただきながら、引き続き都政改革に全力で取り組んでいく決意です。ご理解とご協力をお願いいたします。

新銀行、築地市場問題で 特別委が設立

築地市場の再整備問題 早急に検討会を設置せよ!

Topics 2

石原知事は、都議選後の定例会見で、築地市場の現在地再整備について聞かれ「必要ならもう一回検討したらいい、専門家を入れて」と発言しています。

こうした発言などを踏まえ、民主党は、代表質問において「早急に検討委員会を設置すべきだ」と迫りました。しかし、石原知事は「現在地再整備の実現は困難」と述べるとともに「具体的な代案があれば早急に示してもらいたい」と民主党の要求を突っぱねました。

民主党は、市場関係者などが現在検討している代案などをもとに、現在地再整備を再検討すべきだと考えています。



併せて、代表質問では「シンポジウムや公開討論会など、都民の声を幅広く聴く場を設けるべきだ」と主張しましたが、都の姿勢は極めて消極的です。

緊急雇用対策をさらに積み増し 中小企業の負担軽減を図れ!

Topics 3

7月の完全失業率は5.7%まで上昇し、1953年に統計を開始して以来、過去最悪を記録しました。

民主党は、都が、昨年10月に打ち出した公的雇用50万人の創出だけでは不十分だとして、緊急雇用対策のさらなる積み増しなど、追加的対策を求めるとともに、離職者の再就職を支援していくために職業訓練の拡大・充実を併せて求めました。

これまで民主党の質問に対して極めて消極的であった都も、ようやく認識を改めたようですが、施策の実現こそが望まれています。

また、中小企業対策では、制度融資の拡大・充実をはじめ、信用保証料補助の拡大などによる中小企業の負担軽減を求めるとともに、下請けイジメをなくすためにADR(裁判外紛争解決手続)の普及や下請け取り引きのさらなる適正化を求めました。

尾崎氏が各会計決算特別委員会にて質問しました。【抜粋】

「公立学校の耐震化について質問」

Q.尾崎委員

今日、海外でも頻繁に大規模な地震が起こっているが、発生時に地域の重要な避難所となる学校が調布、狛江市内では十分な耐震化ができていますか？

A.森口都立学校教育部長

平成22年度には、全ての都立学校の耐震改修が終了する予定です。調布、狛江市に関しては既に工事が終了しています。

「福祉保健局に医師不足に関して質問」



Q.尾崎委員

昨今、日本の医療の現場では医師不足が言われているが、医師増員はもちろんそれを補う医療クランクの導入や看護師の確保にどのような施策をとっているか？

A.吉井医療政策部長

医師事務作業補助者の研究を促進するため、必要な経費を支援している。看護師の確保対策も、総合的に推進していく事が重要です。

「待機児童対策について質問」

Q.尾崎委員

集合住宅等の整備にあわせて保育所を整備することは、待機児童の解消とともに世代間交流の促進につながるが、具体的な支援の仕組みについてはどうなっているか？

▶各会計決算特別委員会にて質問する尾崎氏



A.吉岡少子化対策部長

マンションなどの賃借物件を活用した、保育所整備に関する補助制度を創設しました。引き続き、区市町村と連携し整備にあわせた保育所等の整備を支援していく。

「特別養護老人ホームの助成について質問」

Q.尾崎委員

用地の確保が困難な場合に、今後の急速な高齢化の進展を見据えて、東京都は介護基盤の整備をどのように促進をしていくつもりか？

A.狩野高齢社会対策部長

今後とも区市町村と連携し、多様な手法を活用しながら、介護基盤の整備促進に努めていきます。

「障害者を支援する対策を質問」

Q.尾崎委員

地元でも運営の厳しさ、職員の確保の難しさ訴える声を聞いているが、法外の小規模作業所などの安定化について、東京都としてどのように考え、どのように支援を行っているのか？

A.芦田障害者施策推進部長

小規模作業所の障害者の日中活動の場としての重要性は、東京都として十分認識している。法外施設の早期の法内化を目指し、都として支援を行っていく。

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

FAX:042-498-8030 E-mail:ozaki-dai@luck.ocn.ne.jp

連絡先

尾崎大介事務所

〒183-0024 東京都調布市布田2-30-4

TEL:042-498-8030 FAX:042-498-8030

E-mail:ozaki-dai@luck.ocn.ne.jp

<http://www.ozakidaisuke.com>

